



東広会ニュース

7月号

2013年(平成25年)

Vol.109

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

<2013年度 第1四半期 媒体別売上実績>

(単位:百万円)

媒体	第1四半期				
	2013年度	2012年度	前年比	増減	
車両メディア	3線群 中つり	1,604	1,361	117.8%	243
	3線群 まど上	1,163	1,128	103.1%	35
	ドア横新B	1,205	1,117	107.9%	89
	ステッカー	706	701	100.7%	5
	東海道/宇都宮・高崎線、 地方線、新幹線 他	277	281	98.7%	-4
	ADトレイン等	128	125	102.1%	3
	車体広告	110	168	65.5%	-58
	トレインチャンネル	1,457	1,604	90.9%	-146
計	6,650	6,484	102.6%	166	
駅メディア	駅ポスター	629	636	98.8%	-8
	SPメディア	652	576	113.1%	76
	サインボード	2,033	2,048	99.3%	-15
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	161	159	101.6%	3
	J・ADビジョン	325	244	133.0%	81
	デジタルサイネージ	49	2	3182.0%	47
計	3,849	3,665	105.0%	184	
その他(工事 他)	25	30	85.4%	-4	
総計	10,524	10,179	103.4%	346	

J企交通媒体本部の2013年度第1四半期売上は105億24百万円で、対前年103.4%の増収となった。メディア別では、車両メディアは前年度を上回り、対前年102.6%で1億66百万円増、駅メディアは対前年105.0%で1億84百万円増となった。

■車両メディア(実績66億50百万円、対前年102.6%)

『3線群中つり』『3線群まど上』は、大口出稿の増加等により、前年度を上回った。『ドア横新B』『ステッカー』は、販売が堅調に推移し、前年度

を上回った。

『ADトレイン等』は、中づり貸切の出稿増等により、前年度を上回ったものの、『車体広告』は、山手線への出稿減等により前年度を下回った。これまで堅調に推移していた『トレイ

J企交通媒体本部 「2013年度第1四半期売上」まとまる

ンチャンネル』は、長期スポット商品の出稿減等により、前年度を下回った。6月30日(日)より新型車両(E233系)の運転開始にあわせて、JR埼京線・川越線でトレインチャンネルの放映が開始された。

■駅メディア(実績38億49百万円、対前年105.0%)

『駅ポスター』は、「一般ポスター」は前年度を上回ったものの、「セット商品」は前年度を下回り、全体では前年度を下回った。

『SPメディア』は、「SPボード等」「集中ばり」「イベント等」「自動改札ステッカー」等の販売が好調で、前年度を上回った。

『サインボード』は、山手駅・久喜駅等での新規計画開発のほか、昨年度に引き続き「予約販売」や「特別企画」等の販売に努めたが、桜木町駅・北鎌倉駅等での駅改良工事による支障等が影響し、前年度を下回った。

『J・ADビジョン』は、今年4月より新宿駅東口改札外、南口改札外に合計16面の展開が開始されたこと等により、前年度を上回った。

『デジタルサイネージ』は、「東京駅丸の内駅舎保存・復原」完成に合わせて開発した「東京駅丸の内大型LEDビジョン」「TOKYO MARU VISION」を展開した。

埼京線・川越線に「トレインチャンネル」が新たに登場!

6月30日(日)より順次導入されるJR埼京線・川越線の新型車両(E233系)の運転開始にあわせて、車内映像メディア「トレインチャンネル」の放映が開始された。

モニター数は1編成(10両)につき80画面となり、平均乗車時間を考慮して山手線に比べ1ロールの時間を6分程度延長し、約23分間の編成で放映が行われる。

JR埼京線・川越線への新型車両投入が完了すると「トレインチャンネル」は約22,000面規模の大型ネットワークメディアとなる。



埼京線・川越線トレインチャンネル(左画面)

山手線3編成でアドストラップを実施!

山手線3編成において、つり革部分に広告展開するアドストラップが実施された。

広告主は、資生堂で「フェルゼア」のPRを行なった。

山手線アドストラップは、車内のつり革部分の大半を1つの広告主の広告でジャック展開できるアイキャッチ効果の高いメディアであり、山手線利用者の注目を浴びた。

実施期間は6月11日(火)から7月8日(月)まで。



山手線アドストラップ

山手線2編成で観光PRの車体広告展開を実施!

山手線の2編成において、観光PRの車体広告展開が実施された。

広告主は富山県で、観光誘致のPRを行なった。

今回の展開は、山手線2編成全ての電車車体を、富山県の各観光地の紹介をしたもので、同一広告主で山手線をジャックしたインパクトのある広告展開は、山手線利用者の注目を浴びた。

展開期間は6月23日(日)から7月21日(日)まで。



山手線車体広告

女性専用車中づくりジャック展開を実施!

中央線快速、中央総武線各駅停車、埼京線・りんかい線、京浜東北線・根岸線、常磐線各駅停車、青梅線・五日市線、つくばエクスプレスの女性専用車両で中づくりジャック展開が実施された。

広告主はエアタヒチヌイで、タヒチ観光のPRが行われた。

女性専用車両というターゲットが明確な車内の中づくりすべて同一の広告主でジャックすることができるとは、女性専用車両利用者の注目を浴びた。

展開期間は7月1日(月)から7月7日(日)まで。



女性専用車中づくりジャック



特殊ステッカー展開

商品パッケージを活用した立体的な特殊ステッカーが登場!

乗客の視線に入りやすい位置に掲出ができる戸袋ステッカーで、商品パッケージを活用した立体的な特殊ステッカーが展開された。

広告主は、ロート製薬で「Cキューブ(アイスクール)」のPRが行われた。

戸袋ステッカーに本物の商品パッケージを貼り付けたような立体的なデザインでインパクトのある展開となっており、山手線等の電車利用者の注目を集めた。

展開は、7月1日(月)から7月31日(水)まで。

東京駅丸の内地下改札外でアドピラー広告展開を実施!

東京駅丸の内地下中央通路、丸の内地下南口の柱を活用した「アドピラー」のSP広告展開が行われた。

広告主は丸の内商店会・丸の内オアゾ商店会で、「丸の内SALE」のPRが実施された。

東京駅丸の内地下通路の柱を1つの広告主で集中的に展開されたSP広告は、東京駅利用者の注目を浴びた。あわせて山手線、中央線快速、京浜東北線・根岸線、京葉線、埼京線トインチャネルと東京駅丸の内大型LEDビジョンでも展開が行われた。

展開期間は「東京駅丸の内地下中央通路・丸の内地下南口アドピラー」トインチャネル」が、7月1日(月)から7月7日(日)まで。「東京駅丸の内大型LEDビジョン」が7月1日(月)から7月14日(日)まで。



東京駅丸の内地下通路アドピラー

自動改札ステッカーの展開を実施!

山手線管内の16駅において自動改札ステッカーが展開された。

広告主は日本マクドナルドで、期間限定発売の商品「クォーターパウンダーBLT」「クォーターパウンダーハバネロトマト」のPRを行なった。

自動改札ステッカーは、駅利用者の大半が通過する自動改札機に一社独占で広告展開が可能なメディアであり、今回の展開は駅利用者の関心を集めた。

展開期間は6月22日(土)から7月5日(金)まで。



自動改札ステッカー

上野駅で「恐竜王国福井」の大型フラッグを展開!

上野駅中央改札口改札外において、大型フラッグ広告が展開された。

広告主は福井県で、「恐竜王国福井」と福井を代表する観光地である東尋坊のPRが行われた。

今回の展開は、上野駅の玄関口である中央改札外に大型フラッグを掲出したもので、そのインパクトのあるデザインは、上野駅利用者の関心を集めた。同時に上野駅集中貼りの展開により、世界最大級といわれる福井県立恐竜博物館もアピールした。

展開期間は、「上野駅大型フラッグ」は7月1日(月)から7月14日(日)まで。「上野駅集中貼り」は7月8日(月)から7月14日(日)まで。



上野駅大型フラッグ

委員会名簿(順不同)平成25年7月

総務委員会(7名)

- 委員長 長渡 泰三 (株)日交
- 副委員長 大村 義親 (株)弘亜社
- 副委員長 細野 文隆 (株)ユーシン広告社
- 副委員長 石原 能郎 (株)東広
- 副委員長 箕輪 正則 鉄道広告(株)
- 吉田 文成 (株)NKB
- 渡邊 健二 (株)デジタル東日本企画
交通媒体本部

車両メディア委員会(17名)

- 委員長 杉本 公男 協立広告(株)
- 副委員長 神田橋 治 (株)TOMOE
- 副委員長 坂本 典幸 (株)TJB
- 副委員長 関野 茂 (株)日本スタデオ
- 古澤 彰浩 (株)オリコム
- 渡部 清重 (株)ムサシノ広告社
- 阿久澤俊広 (株)春光社
- 佐々木弘史 (株)NKB
- 阿部 晋治 (株)電通
- 武田 英隆 (株)日交
- 松尾 良太 (株)博報堂DYメディア
パートナーズ
- 浅野 昇 (株)ニューアド社
- 那波 俊哉 (株)東急エージェンシー
- 牧野雄一郎 (株)デジタル東日本企画
OOHメディア局
- 末吉 智秋 (株)デジタル東日本企画
交通媒体本部
- 山本 剛久 (株)デジタル東日本企画
交通媒体本部
- 伊藤 慎一 (株)デジタル東日本企画
交通媒体本部

駅メディア委員会(18名)

- 委員長 小野寺忠之 (株)春光社
- 副委員長 田草川 滋 (株)ニューアド社
- 副委員長 池田 剛 (株)博報堂DYメディア
パートナーズ
- 成田 和雄 協立広告(株)

各種委員会を開催

各委員会では、先の理事会(6月12日開催)において選任された委員により委員会を、左記のとおり開催した。

- ◆車両メディア委員会 7月4日(木)
 - ◆駅メディア委員会 7月4日(木)
 - ◆サインボード・安全委員会 7月4日(木)
- 各メディア委員会では第1回目を開催し活動方針の確認、交通広告の現況等について意見交換が行われた。また、分科会の組織作りでは、座長・副座長を選出し、媒体社と広告会社が一括となって今後の課題等に取り組んでいくことが確認された。

- 各分科会の座長・副座長には
- ・車両メディア分科会
- 座長 渡部 清重(株)ムサシノ広告社
- 副座長 池谷 裕志(協立広告(株))
- ・駅メディア分科会
- 座長 岡本 光郎(株)オリコム
- 副座長 輿石 栄作(株)TJB)
- ・サインボード・安全分科会
- 座長 稲川 一(株)文宣
- 副座長 中橋 光(株)大晃

- 副座長 関 学(株)星広告
- 副座長 齋藤 竹史(株)NKB
- 副座長 越沼 義之(株)キムレス広告社
- 副座長 大橋 恒夫(株)近宣
- 副座長 田中 誠一(株)ユーシン広告社
- 副座長 坂下 政道(株)オリコム
- 副座長 足立 義人(株)ニューアド社
- 副座長 大森 雄二(株)大宣
- 副座長 練木 裕二(株)山水広告社
- 副座長 小林健太郎(株)日交
- 副座長 中野 亮(株)アドスマイル
- 副座長 山口 勝(株)デジタル東日本企画
OOHメディア局
- 副座長 末吉 智秋(株)デジタル東日本企画
交通媒体本部
- 副座長 山本 剛久(株)デジタル東日本企画
交通媒体本部
- 副座長 稲田 浩史(株)デジタル東日本企画
交通媒体本部

各氏が選任された。

総務委員会 7月18日(木)

総務委員会は第2回目の委員会を開催し、今年度の活動計画と伴に、各種行事等の確認がされた。

- ◆第19回ゴルフ大会開催場所 期日 10月4日(金)
- 茨城ゴルフ倶楽部 西コース

第7回ボウリング大会を開催

東広会主催の第7回ボウリング大会を6月27日(木)品川プリンスホテルボウリングセンターで20社32名が参加して開催した。

- 成績は次のとおり
- 優 勝 池谷 裕志氏(協立広告(株))
- 準優勝 石原真理恵氏(株)東広)
- 第3位 渡辺 智之氏(株)アド・ボード)

意匠交換に関わる作業規制

JR東日本では、夏季輸送に伴い管内の列車の安定輸送を図るため、「作業等調整期間」が設定された。この期間中の広告に関する作業等について、調整期間中は意匠交換等の作業を行わない事としている。

「夏季輸送作業等調整期間」

■東京・横浜・八王子・大宮・千葉の各支社

8月9日(金)22時～19日(月)9時

※詳細は(株)東京メディア・サービス 設備管理部安全指導課

電話03・5391・1246